



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2008～2009年度 RI のテーマ

Make Dreams Real

会長 田中昌夫 幹事 大作 茂

第1950回例会（2008年11月3日）

《杉戸産業祭バザー》

今年度より社会奉仕活動として杉戸町の障がい者団体に寄付をすることになり、そのため
のバザーを行いました。会場はアグリパークで
当日は好天にも恵まれ、8時30分から品物を並
べ始めると大勢のお客さんが集まっていま
した。開会式が終るのを待って販売を開始しま
したが、あっという間にほとんどの物が売れて
しまい、完売御礼となりました。会員の皆様か
らの寄贈品の回収と値札付け、当日の販売とい
ろいろと大変でしたが、**62,460円**の売上
がありました。皆様方のご協力に感謝いたし
ます。ありがとうございました。



ご覧下さい。販売開始と同時に品物が殆んどな
くなってしまい、お客様がブルーシートの上
に上がってきて残りの品物を物色しています。黒
岩会員のお嬢様は絵画で表彰されました。



武井会員、中島会員はおお客様の呼び込み？！



早々と完売で皆さん余裕の表情です。

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F
事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内
TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

第1951回例会（2008年11月11日）

点鐘

田中会長

ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

四つのテストの唱和

渡辺孝委員長

お客様紹介

《川口北ロータリークラブ》

藤原忠雄様、榎 孝夫様、大杉能弘様、
今村 勲様、佐藤孝三様、

《杉戸中央ロータリークラブ》

小柳明雄様、菅原千晶様、栗原偉憲様、

《ロータリー財団奨学生》

ゲン ティー キン ニュウ様

結婚祝・誕生祝

落合委員長



今月の結婚祝は篠原会員、野口会員、古谷会員、
下津谷会員、本多会員です。誕生祝は舟越会員
と関口会員です。おめでとうございます。

会長挨拶

田中会長



私はまだロータリー
一歴が浅いので、会
長といっても知らない
ことがたくさんあ
ります。先日「決議

23」というのを耳にしまして、何のことだろう
と思い調べてみました。ロータリージャパン
のホームページより抜粋してお話をします。
決議23-34は、社会奉仕活動に対する方針
のうち、「社会奉仕活動に関する1923年の声明
として『手続要覧』に掲載されています。一般
的に決議23-34といわれているのは、これ
が、1923年に開催されたセントルイス国際大会

に提出された第34議案であったからです。こ
の文章は長くてすべてをここに掲載すること
はできませんが、ハロルドT.トーマスは、そ
の著『ロータリー・モザイク』で、この決議
の中に盛り込まれている方針とプログラムの
適用について推奨されている技法の若干を
要約すれば次の通りである。「実行の必要
に迫られている仕事は何か？ 地域社会の
公共施設の中にその仕事を手がけること
のできる施設があるか？ もしあれば、それ
に協力し、それに力を貸せ。重複してやっ
てはならない。また、もしそのような施設
がなかったら、まず適切な企画をもって仕
事をやり始めよ。やがてそれは独自の施設
出現の口火となるであろう。」と述べてい
ます。

この決議の中には“一体なぜロータリーを
必要とするのか？ そして、ロータリーの基
本方針とプログラムはなぜかく定められて
いるのか？”という疑問に対する回答が含
まれている。

理事会報告

大作幹事

11月、12月のプログラム

11月25日 夜間例会

12月16日 クリスマス会

地区大会について

11月15日、16日両日とも東武動物公園
駅に10時10分集合

クリスマス会について

12月18日か22日で場所は三高サロ
ンで行う予定

推薦委員会が承認されました。メン
バーは田中会長、大作幹事、下津谷会
員、武井会員、舟越会員の5名です。

地区より「高校生海外研修派遣」につ
いて応募が多かった為、各クラブで2
名分（60,000円）を負担して欲しいと
のお願いがきていることについて承認。

幹事報告

大作幹事

地区大会についてのお願いがきており
ます。クラブ長期計画書提出のお願い
がきております。

2008～2009年度米山記念奨学部門
感謝の集いのご案内がきております。

日時 平成20年12月14日（日）13:30

会場 ラフォーレ清水園
登録料 一人 6,000 円
第 21 回インターアクト協議会及び韓国訪日
団歓迎会の開催
日時 平成 21 年 1 月 12 日 (月) 10 : 00
場所 さいたま市民会館おおみや
登録料 一人 5,000 円
R I 会長メッセージと「友」インターネット
速報が届いております。

卓話 ゲン ティー クィン ニュウ様



私はロータリー財団奨学生のニューと申します。ベトナムからまいりました。よろしくお願ひします。私はベトナムで大学を卒業して、ロータリー財団の皆様のおかげで、今年 4 月に日本に留学することができました。今、越谷市にある文京大学の外国人留学生別科で日本語を勉強しております。今日は日本に来てから、これまでどんな経験をしてきたのか話したいと思います。

私の大学は 9 月から再開されるので、その前に 1 ヶ月の夏休みがありました。夏休みの間に私は石川県で 1 週間行われたジャパンテントという世界留学生交流プログラムに参加する機会がありました。このプログラムは国際交流を図るとともに、若者たちの夢や希望、そして日本の社会、文化、生活などについて意見を交換しあう目的で、日本全国の大学で勉強している留学生の中から 350 人選んで石川県に招きました。私は運がよくて、その 350 人の一人で、ただで行って来ました。七日間だけでしたが、本当に行ってよかったなと思うほどいい経験になりました。茶道、生け花、弓道など日本の伝統文化や九谷焼、友禅、和菓子など日本の伝統工芸にふれあって、いい体験ができました。

七日のうち三日間は小松市で日本人のホストファミリーでホームステイしました。その時にこういう経験がありました。ホストファミリーの家族は、お母さんと息子さん二人いました。初めての日の夜、ご飯が終って、お風呂に入る時間になりました。私はお客さんですから「じゃニューさん、先にどうぞ」ってお母さんが言ってくれました。それで私がお風呂に入って、出た時に、お母さんは「じゃ私もお風呂に入ります」って言って私は「お湯はまだですよ」と言ったら、お母さんがちょっとビックリして、「まだ？」と聞きました。「はい、今お湯を入れていきますよ」と答えて、「さっきのお湯は？」お母さんが聞いたので「全部流しました」……

先日 NHK で「お米のなみだ」というドラマを見ました。ここにご覧になった方もいらっしゃると思いますが、このドラマは仙台で行っている地域の「食べ手」が、地元の「作り手」をサポートするために、ほんの少し高い値段で米を買い取る約束を取り交わす「鳴子の米プロジェクト」に基づいて作られました。内容は厳しい環境に置かれている米作りの農家の苦労についてなんですが、このドラマが放送された時、ちょうどご飯を食べていたところで、本当に感動して、箸を止めて考えました。私たちが普段何気なく口にしているお米や野菜など、そのものを丁寧に心を込めて作って下さっている農家がいるんだという事を普段忘れがちなんですけど、改めて考えさせられました。このドラマを見て、「なるほど」とか「そうだったのか」という事がいっぱいあって、もう一度お米のありがたさをしみじみ認識しました。

ベトナムは平野で豊富なお米がたくさん作れますが、日本のように政府が高い値段で買ってくれる制度がないので、お米の値段はあまりにも安くて、毎年農家の人たちは悩みに悩んで自分が苦労して作ったお米を安く売っています。日本では昔たぶんその時期もあったかもしれませんが、ベトナムも早くこういう制度が出来たらいいなと思います。これから、日本にいるうちに、そういった良い点を学んで、少しでもベトナムに伝えられれば良いと思います。



《ロータリー財団について》

本日はロータリー財団についての卓話ということで伺いましたが、一人じゃ心配だからと川口北RCのメンバーがついてきて、奨学生と一緒に6人でお邪魔をいたしました。関口パストにはいつも大変お世話になっており、当クラブの夜間例会（酒の席）には度々顔を出していただいております。

さて、ロータリー財団の話ですが、今月の「ロータリーの友」のRI会長メッセージで「ロータリー財団は私たちの財団」ということで載っておりますので、抜粋して紹介します。

「ロータリー財団の使命は健康の改善、教育の支援、それに貧困の軽減を通して、ロータリアンたちが世界理解、善意、平和を推進できるようにすることです。貧しくて学校に行くことのできない子供たち、災害ですべてを失った家族、公衆衛生、きれいな水、医療設備が欠落している地域社会など、毎年、財団に支援されたプログラムによって手を差し伸べられた一人ひとりにとっては大変な意味をもっています。現在、ポリオの恐怖から開放された生活を送る20億人の子どもたちにとっても大きな意味があります。財団が支援した活動によって、500万の人々がポリオが原因で発生する麻痺から免れ、25万人を超える人々が命を落とさずに済みました。どうして私たちは財団を持っているのでしょうか？私たちの財団がロータリーの存在を高めるからこそ、私たちは財団をもっているのです。財団は、それぞれのクラブや地区の可能性を最も高いものにします。」

それでは当2770地区のロータリー財団部門の各委員会活動について少しお話をします。地区には下記の5つの委員会があります。

財団増進・ポリオ委員会
財団奨学学友委員会
研究グループ交換委員会
世界平和フェロシップ委員会
地区補助金委員会

各委員会が実施するプログラムを活発に実行していくためには、十分な地区活動資金（DDF）が必要です。全ロータリアンが地区設定の目標額の寄付にご協力くださいますようお願いいたします。財団学友委員会は派遣国際親善奨学生と受入国際親善奨学生、研究グループ交換派遣生が研究、留学を終えて帰国しますと「ロータリー財団学友」と呼ばれます。研究グループ交換（GSE）の目的は、専門職を有する25歳から40歳までの経験の浅い職業人を外国の地区と相互に派遣チームを交換し合い、職業研修をしながら異文化体験、交流を行います。個人の資質を高めるとともに相互の国を理解し、更に、その経験を分かち合うことが出来ます。地区補助金についてはロータリー財団へ3年前に寄付して頂いた年次寄付と恒久基金の収益（利息）の50%がDDF（地区活動資金）として地区に還元され、その20%を上限に地区補助金として、地区とクラブ人道的プログラムを支援致します。

出席報告

細井会員

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
11/11	30	16	14	9	83%

スマイル報告

細井会員

大杉様・・・関口パストには何時もお世話になっております。本日は久しぶりの訪問となります。藤原様、今村様、楨様、佐藤様、小柳様、菅原様、栗原様・・・お世話になります。よろしく！古谷会員・・・11月10日で35年間夫婦をやり、子供4人、孫8人に成りました。これからも元気で頑張りたいと思います。

関口会員・・・お客様ようこそ！細井さん自動車ショー盛會おめでとうございます。

仁部会員・・・杉戸町障がい者協議会にご寄付いただきありがとうございます。

本日投入額	34,500円
累計額	362,500円